

## 第三セクターの経営情報について

| 報告対象団体                |                              | 北九州貨物鉄道施設保有株式会社   |
|-----------------------|------------------------------|---|
| 会社概要                  | 会社の事業概要                      | 1 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付<br>2 倉庫業<br>3 駐車場業<br>4 広告業<br>5 前各号に付帯関連する一切の事業   |
|                       | 資本金額                         | 400,000 千円  |
|                       | 本市の出資額                       | 196,000 千円  |
|                       | 本市の出資割合                      | 49.0 %  |
|                       | 従業員数                         | 2 人   |
| 営業報告の要点               |                              | <p>施設の維持管理については、北九州貨物ターミナル駅において、駅構内無線基地局無線機取替工事、駅構内東仕分3・4番線間電柱ブラケット灯設置その他工事、構内通路踏切警報灯全方向型増設工事、駅構内3号踏切遮断器修繕を日本貨物鉄道株式会社の施工で行った。</p> <p>収支状況について、日本貨物鉄道株式会社からの施設貸付料収入は、292,187千円（前期比 -2.1%）となった。</p> <p>また、売上原価・販売費及び一般管理費は 229,417 千円（前期比 -0.7%）となった。</p> |
| 収支状況の要点               | 当期純利益                        | 2,387 千円  |
|                       | 前年度との比較                      | <p>○営業利益は、62,769千円で、前期比 4,647千円（-6.9%）の減となった。</p> <p>○経常利益は、4,636千円で、前期比 55千円（-1.2%）の減となった。</p> <p>○当期純利益は、2,387千円で、前期比 74千円（-3.0%）の減となった。</p>  |
|                       | その他<br>(剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など) | 北九州貨物ターミナル駅整備（門司貨物拠点整備事業）及び鹿児島線鉄道貨物輸送力増強事業に係る借入金について、196百万円の返済を行った。   |
| 繰越利益剰余金               |                              | 5,910 千円  |
| 株主総会<br>（令和2年6月22日開催） | 監査報告                         | 監査役2名が監査した結果、適法かつ正確であった。  |
|                       | 議案                           | <p>(1)決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 第21期計算書類承認の件</li> <li>・ 第2号議案 取締役5名選任の件</li> <li>・ 第3号議案 監査役1名選任の件</li> <li>・ 第4号議案 定款変更承認の件</li> </ul> <p>いずれの議案も異議なく承認可決</p>  |

(令和2年3月31日現在)

北九州貨物鐵道施設保有株式会社

令和元年度 経営状況報告

令和 2 年 8 月 19 日  
港 湾 空 港 局



## 第 2 1 回定時株主総会

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 開催日時 令和 2 年 6 月 2 2 日 (月曜日)

2. 開催方法 書面開催

3. 目的事項

【報告事項】 第 2 1 期 (平成 3 1 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 3 1 日まで)  
事業報告の件

【決議事項】

第 1 号議案 第 2 1 期 (平成 3 1 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 3 1 日まで)  
計算書類承認の件

第 2 号議案 取締役 5 名選任の件

第 3 号議案 監査役 1 名選任の件

第 4 号議案 定款変更承認の件

## 第 2 1 回定時株主総会議案書

### 報告事項

第 2 1 期（平成 3 1 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 3 1 日まで）事業報告の件  
（別 紙）

### 決議事項

第 1 号議案 第 2 1 期（平成 3 1 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 3 1 日まで）計算書承認の件  
（別 紙）

第 2 号議案 取締役 5 名選任の件

北九州貨物鉄道施設保有株式会社の定款第 2 0 条により、取締役の任期は、2 年と定めており、現 姫野 健士取締役、小西 一史取締役、辻 誠治取締役及び若松浩司取締役が任期満了となります。

よって、下記のとおり、取締役 5 名の選任をお願い致します。

取締役候補者は、次のとおりです。

| 取締役候補者名   | 略 歴 等    |
|-----------|----------|
| 中 川 哲 朗   | 新任・略歴等別紙 |
| 小 西 一 史   | 重 任      |
| 大 庭 千 賀 子 | 新任・略歴等別紙 |
| 辻 誠 治     | 重 任      |
| 釜 谷 淳 史   | 新任・略歴等別紙 |

第 3 号議案 監査役 1 名選任の件

北九州貨物鉄道施設保有株式会社の定款第 3 3 条により、監査役の任期は、4 年と定めており、現 角田仁監査役が任期満了前に辞任となります。

よって、下記のとおり、監査役 1 名の選任をお願い致します。

監査役候補者は、次のとおりです。

| 監査役候補者名 | 略 歴 等    |
|---------|----------|
| 三 輪 敦   | 新任・略歴等別紙 |

第 4 号議案 定款変更承認の件（別 紙）

# 第 21 期

〔平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで〕

## 事業報告

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

# 事業報告

〔平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで〕

## I. 株式会社の現況に関する事項

### 1. 事業の経過及びその成果

平成11年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助並びに北九州市の門司鉄道コンテナターミナル整備支援事業費補助を受け着手した、門司貨物拠点整備事業の設備が平成14年3月に完成し、また平成19年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助を受け着手した、鹿児島線（北九州・福岡間）鉄道貨物輸送力増強事業の設備が平成23年3月末に完成しました。

これら施設の当該事業年度における維持管理は、北九州貨物ターミナル駅において、駅構内無線基地局無線機取替工事、駅構内東仕分3・4番線間電柱ブラケット灯設置その他工事、構内通路踏切警報灯全方向型増設工事、駅構内3号踏切遮断機修繕、福岡貨物ターミナル駅においては、駅構内モニターカメラ改良工事、駅構内コンテナ立体倉庫建設に伴う地質調査工事を日本貨物鉄道株式会社施工で実施しました。

当社は、鉄道施設を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することで成り立っておりますので、今後とも鉄道施設の維持・管理に努めてまいります。

当事業年度の施設使用料は、日本貨物鉄道株式会社との「鉄道施設等の使用に関する契約」に基づき、292百万円となり、長期借入金返済については、みずほ銀行へ59百万円及び日本政策投資銀行へ136百万円の返済を行いました。

売上原価197百万円、販売費及び一般管理費は31百万円となっております。

以上のような状況のもと、経常利益は4.6百万円となり、当期純利益は2.3百万円となりました。

### 2. 当社が対処すべき課題

当社の主たる事業は、国、並びに北九州市の補助金を受けて構築した設備を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することであり、財産の保守、維持管理が重要となっております。

そのため、日本貨物鉄道株式会社と締結した「鉄道施設の使用及び保守に関する協定」及び「補助金で取得した財産の改良に関する覚書」に則り、定期的に使用実態の確認を行い、財産管理の徹底と、適正な保守及び維持管理に努めてまいりますとともに、健全な会社運営を維持するために効率的な資金計画を策定し、日本貨物鉄道株式会社と打ち合わせながら、着実な長期借入金の返済を行ってまいります。

わが国経済は、国内外での新型コロナウイルス感染拡大を背景に先行不透明な状況で、物流業界においても影響が懸念されるなか、トラックドライバーをはじめとする輸送の担い手の高齢化・人手不足が一層深刻化しているほか、自然災害の激甚化により物流網寸断等のリスクも高まっています。一方こうした状況により、社会インフラとしての物流の重要性が改めて認識されると同時に人手不足や労働時間の規制強化等からモーダルシフトの流れは続いており、環境特性に優れた貨物鉄道が果たす役割への期待が高まっています。この様な状況に応えるため、日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め地域の発展に寄与してまいります。

### 3. 資金調達の状況

当期は、増資はありません。

### 4. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

| 区分         | 期    | 第18期      | 第19期      | 第20期      | 第21期           |
|------------|------|-----------|-----------|-----------|----------------|
|            |      | 平成28年度    | 平成29年度    | 平成30年度    | (当期)<br>平成31年度 |
| 売上高        | (千円) | 320,186   | 312,664   | 298,461   | 292,187        |
| 経常利益       | (千円) | 3,555     | 4,263     | 4,691     | 4,636          |
| 当期純利益      | (千円) | 2,585     | 2,807     | 2,461     | 2,387          |
| 1株当たり当期純利益 | (円)  | 323.22    | 350.94    | 307.70    | 298.38         |
| 総資産        | (千円) | 3,301,459 | 3,107,265 | 2,914,486 | 2,723,864      |
| 純資産        | (千円) | 398,254   | 401,062   | 403,523   | 405,910        |

### 5. 主要な事業内容及び事業所

#### (1) 事業内容

当社は、(i) 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付、(ii) 倉庫業、(iii) 駐車場業、(iv) 広告業、(v) 前各号に付帯関連する一切の事業を営むことを目的としております。

#### (2) 事業所

本 社 所 在 地 北九州市門司区大里新町11番1号

### 6. 使用人の状況

令和2年4月1日現在

| 性別 | 従業員数 | 記 事  |
|----|------|------|
| 男子 | 1名   | 契約社員 |
| 女子 | 1名   | 契約社員 |
| 計  | 2名   |      |

### 7. 主要な借入先及び事業別の借入残額

(単位：百万円)

| 事業名      | 門司事業  | 鹿児島モーダル事業 | 合計      |
|----------|-------|-----------|---------|
| 借入銀行     |       |           |         |
| 日本政策投資銀行 | 172.4 | 578.4     | 750.8   |
| みずほ銀行    | 823.0 | 724.1     | 1,547.1 |
| 計        | 995.4 | 1,302.5   | 2,297.9 |

## II. 株式に関する事項



- |              |         |
|--------------|---------|
| 1. 発行可能株式の総数 | 32,000株 |
| 2. 発行済株式の総数  | 8,000株  |
| 3. 株主数       | 3名      |
| 4. 株主名       |         |

| 株主名        | 持株数    | 持株比率   | 株主への当社の出資状況 |
|------------|--------|--------|-------------|
| 日本貨物鉄道株式会社 | 3,920株 | 49.0%  | なし          |
| 北九州市       | 3,920株 | 49.0%  | なし          |
| 株式会社みずほ銀行  | 160株   | 2.0%   | なし          |
| 計          | 8,000株 | 100.0% |             |

### Ⅲ. 会社役員に関する事項

#### 1. 取締役及び監査役の氏名等

令和2年4月1日現在

| 氏名    | 地位      | 他の法人等の役職               |
|-------|---------|------------------------|
| 姫野 健士 | 代表取締役社長 | 日本貨物鉄道(株) 九州支社長        |
| 小西 一史 | 専務取締役   | 常勤取締役                  |
| 辻 誠治  | 取締役     | 北九州市 港湾空港局長            |
| 若松 浩司 | 取締役     | 日本貨物鉄道(株) 九州支社 総務部長    |
| (小計)  |         | (4名)                   |
| 高田 修  | 監査役     | (株)みずほ銀行 営業第十五部副部長     |
| 角田 仁  | 監査役     | 日本貨物鉄道(株) インフラ整備推進部副部長 |
| (小計)  |         | (2名)                   |
| 合計    |         | 6名                     |

- (注) (1) 取締役 木本仁氏は、令和2年1月31日をもって辞任いたしました。  
(2) 取締役 辻誠治氏は、令和2年4月1日開催の臨時株主総会において就任いたしました。  
(3) 取締役 大下徳裕氏、令和2年3月31日をもって辞任いたしました。  
(4) 取締役 辻誠治氏及び若松浩司氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
(5) 監査役 高田修氏及び角田仁氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

#### 2. 取締役及び監査役の報酬等の額

(単位：千円)

| 区分  | 人数 | 報酬等の額 | 適用 |
|-----|----|-------|----|
| 取締役 | 1名 | 7,951 |    |

# 第 21 期

平成31年 4月 1日 から  
令和 2年 3月31日 まで

## 計 算 書 類

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## 貸借対照表

令和 2年3月31日 現在

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

代表者 姫野 健士

(単位：千円)

| 資 産 の 部   |               | 負 債 の 部     |               |
|-----------|---------------|-------------|---------------|
| 【Ⅰ流動資産】   | 【 83,553 】    | 【Ⅰ流動負債】     | 【 212,417 】   |
| 現金・預金     | 16,258        | 1年以内返済長期借入金 | 196,400       |
| 前払費用      | 295           | 未払費用        | 185           |
| 短期貸付金     | 67,000        | 未払利息        | 4,785         |
|           |               | 未払法人税等      | 2,708         |
|           |               | 未払消費税等      | 8,136         |
|           |               | 預り金         | 201           |
| 【Ⅱ固定資産】   | 【 2,640,310 】 | 【Ⅱ固定負債】     | 【 2,105,536 】 |
| 有形固定資産    | ( 1,789,040 ) | 長期借入金       | 2,101,500     |
| 建物        | 305,843       | 役員退職慰労引当金   | 4,036         |
| 構築物       | 3,615,234     |             |               |
| 機械・装置     | 46,245        |             |               |
| 建物付属装置    | 53,751        |             |               |
| 工具器具備品    | 1,039         |             |               |
| 土地        | 10,503        |             |               |
| 減価償却累計額   | △ 2,243,576   | 負債の部合計      | 2,317,953     |
|           |               | 純資産の部       |               |
|           |               | 【Ⅰ株主資産】     | 【 405,910 】   |
| 無形固定資産    | ( 850,765 )   | 1. 資本金      | 400,000       |
| 電話加入権     | 72            | 2. 利益剰余金    | 5,910         |
| ソフトウェア    | 0             | その他利益剰余金    | 5,910         |
| 鉄道軌道連絡通行  |               | 繰越利益剰余金     | 5,910         |
| 施設利用権     | 850,693       |             |               |
| 投資等その他の資産 | ( 504 )       | 【Ⅱ評価・換算差額等】 | 【 0 】         |
| 長期貸付金     |               |             |               |
| 繰延税金資産    | 504           | 純資産の部合計     | 405,910       |
| 資産の部合計    | 2,723,864     | 負債・純資産の部合計  | 2,723,864     |

(注) 1. 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 1株あたりの当期純利益 298円38銭

## 損 益 計 算 書

平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額     |         |
|--------------|---------|---------|
| 【売上高】        |         |         |
| 施設貸付料        |         | 292,187 |
| 【売上原価】       |         |         |
| 租税公課         | 27,576  |         |
| 減価償却         | 167,541 |         |
| 補償負担金手数料     | 2,507   |         |
|              |         | 197,625 |
| 売上総利益        |         | 94,562  |
| 【販売費及び一般管理費】 | 31,792  | 31,792  |
| 営業利益         |         | 62,769  |
| 【営業外収益】      |         |         |
| 受取利息         | 672     |         |
| 雑収入          | 14      | 686     |
| 【営業外費用】      |         |         |
| 支払利息         | 58,819  | 58,819  |
| 経常利益         |         | 4,636   |
| 【特別損失】       |         |         |
| 固定資産除却損      |         |         |
| 税引前当期純利益     |         | 4,636   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,259   |         |
| 法人税等調整額      | -10     | 2,249   |
| 当期純利益        |         | 2,387   |

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 販売費及び一般管理費の計算内訳

商号 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

|             |            |
|-------------|------------|
| 役員報酬        | 7,951,200  |
| 出向者負担金      | 0          |
| 従業員給与       | 6,417,320  |
| 従業員賞与       | 1,904,102  |
| 法定福利費       | 2,546,619  |
| 福利厚生費       | 177,463    |
| 役員退職慰労引当金繰入 | 1,325,200  |
| 通勤費         | 403,056    |
| 租税公課        | 3,032,330  |
| 旅費交通費       | 1,657,217  |
| 通信費         | 338,875    |
| 広告宣伝費       | 271,500    |
| 交際費         | 918,298    |
| 保険料         | 83,060     |
| 消耗品費        | 156,415    |
| 減価償却費       | 138,847    |
| 地代家賃        | 289,830    |
| 修繕費         | 70,000     |
| 賃借料         | 1,420,000  |
| 車両費         | 42,499     |
| 管理諸費        | 1,488,600  |
| 図書新聞費       | 119,928    |
| 諸会費         | 67,500     |
| 少額備品        | 0          |
| リース料        | 759,199    |
| 寄付金         | 47,000     |
| 会議費         | 114,419    |
| 公告料         | 0          |
| 支払手数料       | 52,300     |
| 雑費          | 0          |
| 合 計         | 31,792,777 |

## 棚卸資産の計算内訳

令和 2年 3月31日 現在

(単位：円)

|          |   |
|----------|---|
| 商品       | 0 |
| 製品       | 0 |
| 貯蔵品      | 0 |
| 仕掛品(半製品) | 0 |
| 合 計      | 0 |

# 株主資本等変動計算書

商号 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

|            |                        |       |                  |                    |
|------------|------------------------|-------|------------------|--------------------|
| <b>I</b>   | <b>株 主 資 本</b>         |       |                  |                    |
|            | <b>1. 資 本 金</b>        |       |                  |                    |
|            |                        | 当期首残高 |                  | 400,000,000        |
|            |                        | 当期変動額 |                  | <u>0</u>           |
|            |                        | 当期末残高 |                  | <u>400,000,000</u> |
|            | <b>2. 利 益 剰 余 金</b>    |       |                  |                    |
|            | (1) その他利益剰余金           |       |                  |                    |
|            | 繰越利益剰余金                |       |                  |                    |
|            |                        | 当期首残高 |                  | 3,523,767          |
|            |                        | 当期変動額 |                  |                    |
|            |                        | 当期純利益 | <u>2,387,052</u> | <u>2,387,052</u>   |
|            |                        | 当期末残高 |                  | <u>5,910,819</u>   |
|            | <b>その他利益剰余金合計</b>      |       |                  |                    |
|            |                        | 当期首残高 |                  | 3,523,767          |
|            |                        | 当期変動額 |                  |                    |
|            |                        | 当期純利益 | <u>2,387,052</u> | <u>2,387,052</u>   |
|            |                        | 当期末残高 |                  | <u>5,910,819</u>   |
|            | <b>株 主 資 本 合 計</b>     |       |                  |                    |
|            |                        | 当期首残高 |                  | 403,523,767        |
|            |                        | 当期変動額 |                  |                    |
|            |                        | 当期純利益 | <u>2,387,052</u> | <u>2,387,052</u>   |
|            |                        | 当期末残高 |                  | <u>405,910,819</u> |
| <b>II</b>  | <b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b> |       |                  |                    |
|            |                        | 当期首残高 |                  | 0                  |
|            |                        | 当期変動額 |                  | <u>0</u>           |
|            |                        | 当期末残高 |                  | <u>0</u>           |
| <b>III</b> | <b>新 株 予 約 権</b>       |       |                  |                    |
|            |                        | 当期首残高 |                  | 0                  |
|            |                        | 当期変動額 |                  | <u>0</u>           |
|            |                        | 当期末残高 |                  | <u>0</u>           |
|            | <b>純 資 産 の 部 合 計</b>   |       |                  |                    |
|            |                        | 当期首残高 |                  | 403,523,767        |
|            |                        | 当期変動額 |                  |                    |
|            |                        | 当期純利益 | <u>2,387,052</u> | <u>2,387,052</u>   |
|            |                        | 当期末残高 |                  | <u>405,910,819</u> |

# 第 21 期

平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで

## 計 算 書 類 に 係 る 附 属 明 細 書

(会社法第435条2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:千円)

| 区分             | 資産の種類   | 期首<br>帳簿価格 | 当期  |     |         | 期末<br>帳簿価格 | 減価償却<br>累計額 | 取得原価      |
|----------------|---------|------------|-----|-----|---------|------------|-------------|-----------|
|                |         |            | 増加額 | 減少額 | 償却費     |            |             |           |
| 有形<br>固定<br>資産 | 建物      | 165,118    | 0   | 0   | 8,757   | 156,361    | 149,481     | 305,843   |
|                | 建物附属設備  | 3,564      | 0   | 0   | 720     | 2,843      | 50,907      | 53,751    |
|                | 構築物     | 1,728,578  | 0   | 0   | 111,160 | 1,617,417  | 1,997,817   | 3,615,234 |
|                | 機械及び装置  | 2,951      | 0   | 0   | 1,333   | 1,618      | 44,626      | 46,245    |
|                | 器具及び備品  | 132        | 301 | 0   | 138     | 295        | 744         | 1,039     |
|                | 土地      | 10,503     | 0   | 0   | 0       | 10,503     | 0           | 10,503    |
|                | 計       | 1,910,846  | 301 | 0   | 122,108 | 1,789,037  | 2,243,575   | 4,032,615 |
| 無形<br>固定<br>資産 | 電話加入権   | 72         | 0   | 0   | 0       | 72         | 0           | 72        |
|                | 通行施設利用権 | 896,264    | 0   | 0   | 45,570  | 850,693    | 489,617     | 1,340,310 |
|                | ソフトウェア  | 0          | 0   | 0   | 0       | 0          | 4,960       | 4,960     |
|                | 計       | 896,336    | 0   | 0   | 45,570  | 850,765    | 494,577     | 1,345,342 |
|                | 総計      | 2,807,182  | 301 | 0   | 167,678 | 2,639,802  | 2,738,152   | 5,377,957 |

(注)記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

2. 引当金の明細

(単位:千円)

| 区分      | 期首残高  | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高  |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 貸倒引当金   | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 賞与引当金   | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 役員退職慰労金 | 2,711 | 1,325 | 0     | 4,036 |
| 退職給付引当金 | 0     | 0     | 0     | 0     |

(注)記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

※引当金計上理由及び算定方法は計算書類の会計方針に記載のとおりです。



# 第 2 1 期

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

## 個 別 注 記 表

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法
  - (1) 有形固定資産  
定額法を採用しています。
  - (2) 無形固定資産  
定額法を採用しています。
2. 引当金の計上基準
  - (1) 役員退職慰労引当金  
役員が役員退職慰労金支給に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。
3. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。
4. リース取引の処理方法
  - (1) 平成23年度までのファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。
  - (2) 平成24年度以降のファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、リース資産会計処理を行っております。
5. ヘッジ会計の方法
  - (1) ヘッジ会計の方法  
金利スワップの特例処理を行っている。
  - (2) ヘッジ手段とヘッジ対象  
当事業年度にヘッジ会計を適用した手段とヘッジ対象は以下のとおりです。  
ヘッジ手段：金利スワップ等のデリバティブ取引をヘッジ手段としています。  
ヘッジ対象：長期借入金
  - (3) ヘッジ方針
    - ① 金融取引における将来の金利変動等によるリスクを回避する目的で行って  
ます。
    - ② 金利スワップは実需の範囲内で行っており、投機的な取引は行わない方針  
であります。

## II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 2, 243, 576千円
2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務
  - (1) 短期金銭債務 0千円

### Ⅲ. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との営業取引の取引高総額 292,187千円

### Ⅳ. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済総数 普通株式 8,000株

### Ⅴ. 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産の発生原因内訳

|       |       |
|-------|-------|
| 未払事業税 | 504千円 |
| 合計    | 504千円 |

### Ⅵ. 関連当事者との取引に関する注記

1. 名称 日本貨物鉄道株式会社

取引内容 営業取引

|       |           |
|-------|-----------|
| 議決権割合 | 49%       |
| 営業収益  | 292,187千円 |
| 営業外収益 | 0千円       |
| 営業費用  | 1,420千円   |
| 営業外費用 | 0千円       |

### Ⅶ. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額 50,738円85銭

2. 一株当たり当期純利益金額 298円38銭

### Ⅷ. 会計方針の変更

特記無し

(注) Ⅶ以外の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

令和2年 5月 25日

北九州貨物鉄道施設保有株式会社  
代表取締役社長 姫野 健士 殿

監 査 役

高田 修



監査報告書の提出について

会社法第381条1項の規定に基づき、別紙のとおり監査報告書を作成いたしましたので提出いたします。

以 上

令和2年 5月 25日

## 監査役監査報告

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

監査役

高田 修

第21期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、監査方針、監査基準及び監査計画を定めた上で調査を行い、監査を実施しました。監査にあたっては、管理部の職員を補助として使用して調査等を行いました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当社の取締役等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求め調査を行いました。

### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属説明書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

令和2年 5月 27日

北九州貨物鉄道施設保有株式会社  
代表取締役社長 姫野 健士 殿

監 査 役 (印) 田 中 仁

監査報告書の提出について

会社法第381条1項の規定に基づき、別紙のとおり監査報告書を作成いたしましたので提出いたします。

以 上

令和2年 5月 27日

## 監査役監査報告

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

監査役 角田 仁

第21期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、監査方針、監査基準及び監査計画を定めた上で調査を行い、監査を実施しました。監査にあたっては、管理部の職員を補助として使用して調査等を行いました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当社の取締役等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求め調査を行いました。

### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附随説明書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以 上

## 定款の改定について（案）

平成11年4月26日 発行

平成18年6月16日 改正

令和 2年6月22日 改正

| 現 定款 第4章（取締役及び取締役会）   | 改 定 案   |
|---|---|
| <p>(決議方法)</p> <p>第28条 取締役会の決議は、議決に加わることができる取締役の過半数が出席し、その過半数をもって行う。</p> <p><u>(追 加)</u></p> | <p>(決議方法)</p> <p>第28条 取締役会の決議は、議決に加わることができる取締役の過半数が出席し、その過半数をもって行う。</p> <p><u>2 取締役会の決議は、議決に加わることができる取締役の全員が書面より同意の意思表示をし、かつ、監査役が当該提案について意義を述べないときは、その提案を可決する旨の取締役会の決議があったものとみなす。</u></p> |